

(1) シダのなかま

解説

シダのなかまは体は卵形をしています。第2触角が太くて長いために、顕微鏡で観察したときにしばしば横向きでなく、腹側から見る場合があります。パンザイをしたような形で、ずいぶんちがって見えるので注意が必要です。写真は、横向きです。

特徴

頭部が大きく、また腕のように見える第2触角が太くて長いのが特徴です。

この図鑑にのせた属

シダ属、オナガミジンコ属

「シダのなかま」の見分け方

頭部に吸着器がある	頭部に吸着器がない
<p>ヘルメットのような形の頭</p> <p>だいにしよっかく第2触角</p> <p>きゅうちやくき吸着器</p> <p>シダ属</p>	<p>シダ属より細長い頭</p> <p>だいにしよっかく第2触角</p> <p>きゅうちやくき吸着器はない</p> <p>オナガミジンコ属</p>

シダ属

Sida

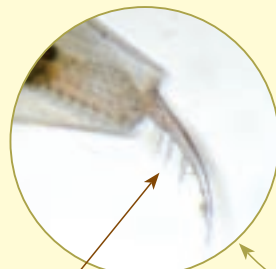
解説

シダ属には、後頭部に水草などに付着するための吸着器があるのが特徴ですが、第2触角がじゃまをして見えないこともよくあります。

シダ

Sida crystallina

メスの大きさ 約2mm



尾爪についている基刺は3~4本



オナガミジンコ属

Diaphanosoma

解説

頭がほかの「ミジンコのなかま」と比較して、とても大きいのが特徴です。体の後ろに伸びた毛がとても長いことからオナガという名前がついています。

オナガミジンコ

Diaphanosoma orientalis

メスの大きさ 0.7~0.9mm



(2) ミジンコのなかま

特徴

左右に平たい長方形や楕円形の殻をもっています。かわいらしく見える大きな複眼は2個あると思われがちですが、実際には1個しかありません。

この図鑑にのせた属

アオムキミジンコ属、ミジンコ属、オカメミジンコ属、ネコゼミジンコ属、タマミジンコ属

「ミジンコのなかま」の見分け方

吻がある		吻がない					
腹側の縁が直線的	腹側の縁が曲線	第1触角は短い	第1触角は長い				
<p>吻</p> <p>単眼</p> <p>腹側の縁が直線的</p> <p>アオムキミジンコ属</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>単眼が点状</th> <th>単眼が三角、菱形</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <p>吻</p> <p>点状の単眼</p> <p>ミジンコ属</p> </td> <td> <p>吻</p> <p>三角・菱形の単眼</p> <p>オカメミジンコ属</p> </td> </tr> </tbody> </table>	単眼が点状	単眼が三角、菱形	<p>吻</p> <p>点状の単眼</p> <p>ミジンコ属</p>	<p>吻</p> <p>三角・菱形の単眼</p> <p>オカメミジンコ属</p>	<p>第1触角</p> <p>単眼</p> <p>ネコゼミジンコ属</p>	<p>第1触角</p> <p>複眼</p> <p>単眼はない</p> <p>タマミジンコ属</p>
単眼が点状	単眼が三角、菱形						
<p>吻</p> <p>点状の単眼</p> <p>ミジンコ属</p>	<p>吻</p> <p>三角・菱形の単眼</p> <p>オカメミジンコ属</p>						

アオムキミジンコ属

Scapholeberis

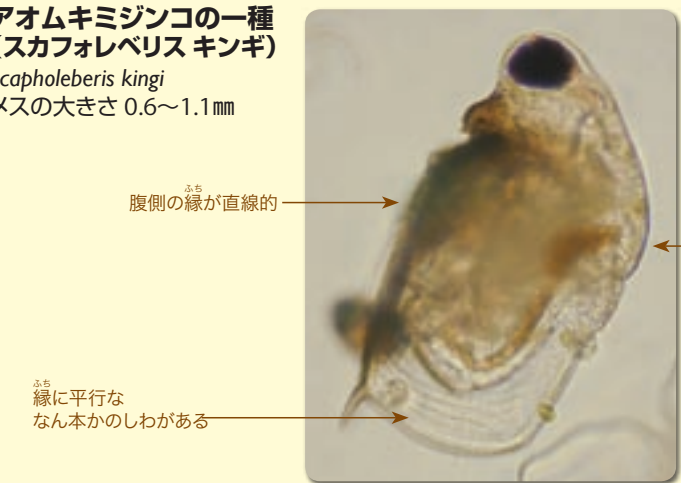
解説

名前は、腹側を上にして泳ぐ姿からつけられています。日本には2種類いるとされています。腹側の縁が直線的である点でほかのミジンコと区別することができます。

アオムキミジンコ的一种 (スカフォレベリス キンギ)

Scapholeberis kingi

メスの大きさ 0.6~1.1mm



腹側の縁が直線的

縁に平行ななん本かのしわがある

背中の曲線は、卵をもっているかどうかで変わる